



## 第10回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会

### 会 議 次 第

日時：令和8年6月15日（月）10:00～12:00

場所：高知城ホール 大会議室

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

4 会長・副会長の選出

5 議 事

(1) 本年度の取組について 【資料1、2】

(2) 作業部会の取組について 【資料3】

(3) その他 【資料4】

6 閉 会

第10回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会出席者名簿

日時:

令和8年6月15日(月)10:00~12:00

高知城ホール 大会議室

委員

所属	職名	氏名	備考
高知大学 イノベーションセンター	准教授	岡村 健志	
南国生活技術研究所	代表	黒笹 慈幾	
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所	主任研究員	坪井 潤一	WEB参加
薬膳・和食文化研究家	研究家	百田 美知	
高知県観光コンベンション協会	総務受入本部長	川村 百都子	
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合	代表理事	藤本 正孝	欠席
鮎屋仁淀川	代表	西脇 亜紀	
道の駅よって西土佐	駅長	林 大介	欠席
高知県水産物加工販売組合	会長	西内 正	
株式会社しまんとtasty	代表取締役	荒地 千恵	
高知県内水面漁業協同組合連合会	代表理事	吉村 正男	

国関係部局

所属	職名	氏名	備考
高知河川国道事務所	建設専門官	土居 寛幸	
中村河川国道事務所	副所長	弘田 真一	

県関係部局

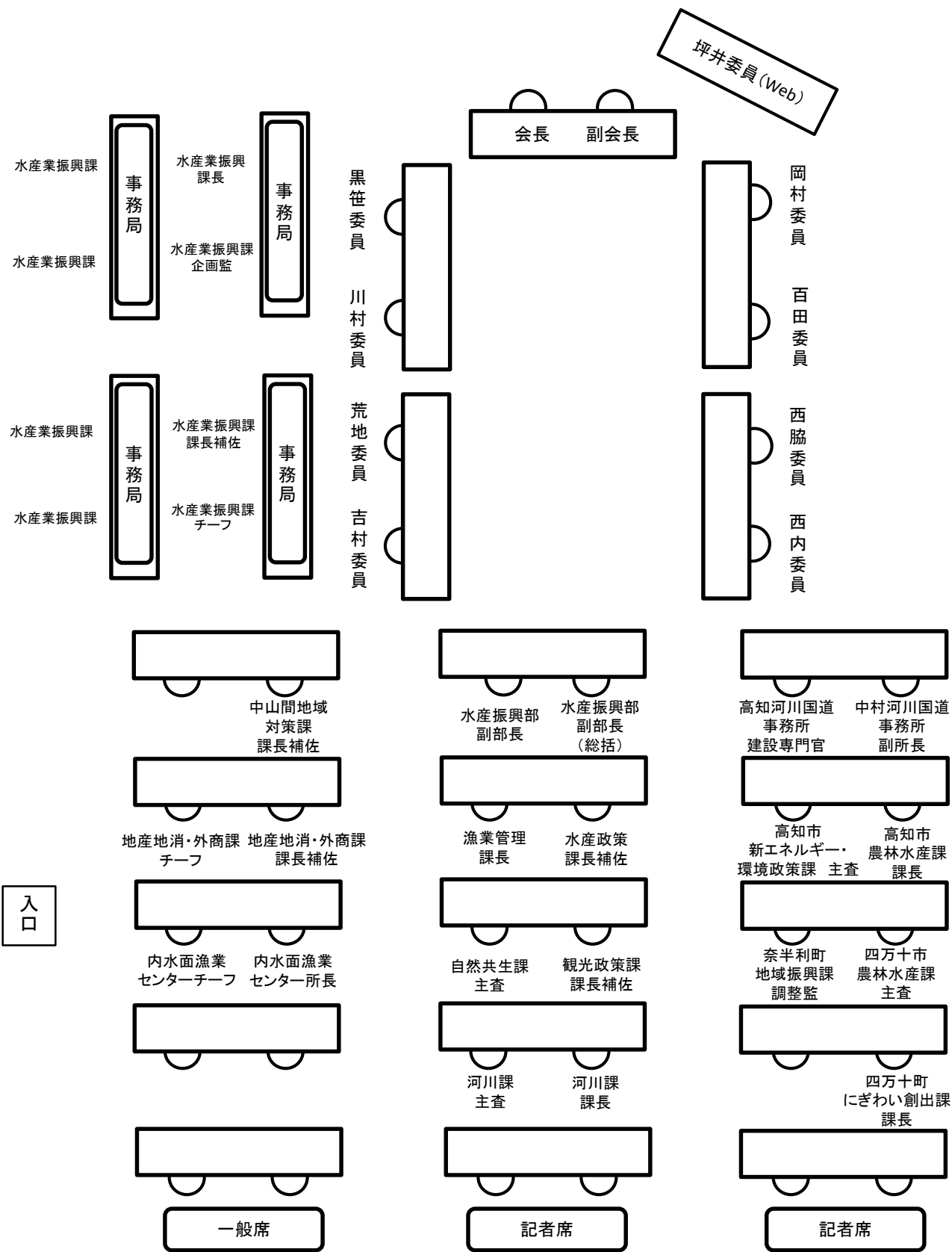
所属	職名	氏名	備考
水産振興部	副部長(総括)	濱田 仁	
	副部長	浜渦 敬三	
水産政策課	課長補佐	川村 洋平	
漁業管理課	課長	山本 順	
内水面漁業センター	所長	織田 純生	
	チーフ	伊與田 慎右	
中山間地域対策課	課長補佐	西岡 洋平	
地産地消・外商課	課長補佐	田中 辰弥	
	チーフ(地産外商担当)	越智 敦史	
観光政策課	課長補佐	中橋 一真	
自然共生課	主査	山崎 翔人	
河川課	課長	福留 章洋	
	主査	大原 滉平	
水産業振興課(事務局)	課長	土居 聡	
	企画監兼水産物外商室長	山崎 竜二	
	課長補佐	木村 雅俊	
	チーフ(流通・消費拡大担当)	濱田 将司	
	主査	阿部 陽	
	技師	岡 亮佑	

市町村関係部局

所属	職名	氏名	備考
高知市 農林水産課	課長	守屋 好英	
高知市 新エネルギー・環境政策課	主査	森 健介	
四万十市 農林水産課	主査	手島 碧斗	
奈半利町 地域振興課	調整監	久武 禎志	
四万十町 にぎわい創出課	課長	小笹 義博	

# 第10回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会 配席図

令和8年6月15日（月）10:00～12:00  
（高知城ホール 大会議室）



あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会委員名簿

区分	氏名	所属	職名
有識者	岡村 健志	高知大学 イノベーションセンター	准教授
	黒笹 慈幾	南国生活技術研究所	代表
	坪井 潤一	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所	主任研究員
	百田 美知	薬膳・和食文化研究家	研究家
観光	川村 百都子	高知県観光コンベンション協会	総務受入本部長
	藤本 正孝	高知県旅館ホテル生活衛生同業組合	代表理事
地域振興	西脇 亜紀	鮎屋仁淀川	代表
	林 大介	道の駅よって西土佐	駅長
流通販売	西内 正	高知県水産物加工販売組合	会長
	荒地 千恵	株式会社しまんとtasty	代表取締役
漁業団体	吉村 正男	高知県内水面漁業協同組合連合会	代表理事

## あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会設置要綱

### (目的)

第1条 本県のあゆの価値を再認識し、あゆを有効かつ持続的に活用するための共通の指針である「あゆ王国高知振興ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、ビジョンに掲げる取組が着実に進むように、取組の進捗確認や助言を行う「あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

### (協議会の機能)

第2条 協議会は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について協議し、検討を行う。

- (1) 取組の進捗状況の確認、評価、修正、追加に関すること。
- (2) 協議会の運営や作業部会の設置に関すること。
- (3) その他協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (委員の構成)

第3条 協議会の委員は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 企業・団体の役職員
- (3) 国・地方公共団体の職員
- (4) その他第1条の目的を達成するため相応しい者

### (会長、副会長)

第4条 協議会に会長1名、副会長1名を置く。

- 2 会長は委員の互選により選任し、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある時又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から、委嘱の日の属する年度の3月31日までとする。

### (会議)

第6条 協議会は、会長が招集し、会長はその議長となる。ただし、会長及び副会長が選任される前に招集される協議会については、知事が招集することができる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは委員以外の関係者の出席を求め、資料の提出、意見の表明、説明その他協力を求めることができる。

### (作業部会)

第7条 協議会は、ビジョンに掲げる取組のうち、重要度や専門性が高い取組を着実に推進するため、必要に応じて作業部会を設置することができる。

- 2 作業部会のメンバーは、会長が選任することとし、協議会の委員のほか、学識経験者、企業・団体の役職員、国・地方公共団体の職員、その他第1条の目的を達成するために相応しい者で構成する。

### (事務局)

第8条 協議会及び作業部会の事務局は、高知県水産振興部水産業振興課に置く。

### 附 則

この要綱は、令和4年4月20日から施行する。

第2期 あゆ王国高知振興ビジョンにおける目標設定

参考

○全体スローガン

「あゆの香りあふれる自然と暮らし あゆ王国高知」

○柱ごとの目標値

柱番号	柱内容	項目	取組み方針	指標	出発点	現状値 (令和7年度末)	R9年目標値 各指標値を 120%以上へ (4年後)
柱1	高知のあゆに触 られる機会づ くり	観光	①あゆを活用した旅行商品 提供のための仕組みづくり ②旅行商品づくりのための 環境整備 ③観光キャンペーンへのあ ゆの活用	あゆ取扱い施設に おける あゆ関連商品の 飲食・購入者数	2.2万人 (R4年度)	4.0万人 (R6年度)	2.6万人
		食	①県内の飲食店等であゆを 食べてもらう機会づくり ②県外の飲食店等で高知の あゆを食べてもらう機会づ くり ③調理方法や食べ方の提案 によるあゆの利用促進				
		釣り	①子どもたちがあゆに親し む機会づくり ②遊漁者の増加に向けた仕 組みづくり	県内遊漁券 販売数	11,919件 (R4年)	11,166件 (R5年) ※R6集計中	14,300件
柱2	高知のあゆで外 貨を稼ぐ仕組み づくり	加工・流 通販売	①県内各河川のあゆを一元的、 安定的に供給するための 流通体制の構築 ②あゆの販路開拓・拡大の ための取組の実施 ③消費者への販売促進や県 産あゆのファンづくり	県内主要集出荷 施設における あゆ取扱量	22.0t (R3年)	18.8t (R5年)	26.4t
柱3	高知の川遊びの 文化を維持する 仕組みづくり	体験・教 育	①子どもたちが川に親しむ 学習などの実施 ②大人の学習・体験機会の 創出	環境学習等 参加者数	1,501人 (R4年度)	1,910人 (R6年度)	1,800人
柱4	高知のあゆを持 続的に活用する ための仕組みづ くり	資源回 復・保全	①あゆ資源の持続的活用 に向けた資源回復・保全策の 実施	産卵場造成等の 資源保全参加者数	333人 (R4年度)	258人 (R6年度)	400人
柱5	高知のあゆを情 報発信する仕組 みづくり	情報発信	①SNSやホームページを活 用した情報発信	あゆ王国HPの 閲覧数	2.8万回 (R5年度)	2.2万回 (R6年度)	4.4万回
あゆ王国高知振興ビジョン全体の取組み数					76件 (R5年度)	80件 (R7年度)	90件

## 第2期あゆ王国高知振興ビジョン（R6～R9年度）

- 本ビジョンは、本県のあゆの価値を県民の皆さまに再認識していただき、あゆを観光や地域振興等に有効かつ持続的に活用するための共通の指針としてR4.3月に策定。**R6.3月には第2期ビジョンへバージョンアップ**
- 本ビジョンは、地域住民、事業者、行政が協働して展開すべき振興策について、総合的かつ体系的に整理したもので、「高知のあゆに触れられる機会づくり」、「高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり」等、**5つの柱で構成**。
- ビジョンに掲げる取組の進捗状況の確認や助言をいただくため、「あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会」を設置。協議会では、重要性や専門性の高い取組等について検討を行う作業部会を設置（情報発信部会、流通販売部会、資源・環境保全部会）
- 協議会での意見を軸に、漁協やあゆ関係事業者が主体となり、本ビジョンの達成に向けた具体的な取組を実施

## 第2期ビジョンにおける目標設定

出発点(R5)→目標値(R9)

○ あゆ取扱い施設におけるあゆ関連商品の飲食・購入者数	2.2万人→2.6万人
○ 県内遊漁券販売数	11,919件→14,300件
○ 県内主要集出荷施設におけるあゆ取扱量	22t→26.4t
○ 環境学習参加者数	1,501人→1,800人
○ 産卵場造成等の資源保全参加者数	333人→400人
○ あゆ王国HPの閲覧数	2.8万回→4.4万回
○ あゆ王国高知振興ビジョン全体の取組み数	76件→90件

## R8年度の主な取り組み

### ビジョンの柱 1 高知のあゆに触れられる機会づくり

#### 観光



- ・体験メニューの商品造成に向けた支援（四万十町、四万十市、県）

#### 食



- 拡** 「第4回こうち天然あゆまつり」の開催（県）

- ・宿泊施設や飲食店でのあゆメニューの開発・提供（漁協、馬路村、能津集落活動センターミライエ、県）

#### 釣り



- ・友釣り体験・大会の開催（友釣り連盟、四万十市、奈半利町）

### ビジョンの柱 2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり

#### 加工・流通販売



- 拡** 新たな集出荷事業者の確保（漁協、作業部会、県）

- ・ふるさと納税でのあゆの提供（漁協、四万十市、奈半利町、仁淀川町、四万十町、馬路村）

### ビジョンの柱 3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり

#### 体験・教育



- ・学校と連携した環境学習の実施（四万十町、仁淀川町、四万十市、県）
- ・あゆ種苗放流体験の実施（漁協、奈半利町、仁淀川町、馬路村、三原村）

- 新** 川全体の恵みを主軸に食・体験・文化に触れることができるイベントを開催（四万十市）

### ビジョンの柱 4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり

#### 資源回復・保全



- ・資源回復・保全のための調査等の実施（四万十市、県）

- ・カワウ対策に向けた検討（県）

### ビジョンの柱 5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり

#### 情報発信



- ・「あゆ王国高知」のホームページや各種SNS等を活用したあゆ関連情報の発信（能津集落活動センターミライエ、馬路村、県）

- 拡** 清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信（高知県友釣り連盟、県）

これらの取り組みが進むことで

**あゆの価値を県内外に広め、県経済や中山間地域の活性化及び新たな付加価値の創出につなげる**

## あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

## 【進捗管理所属：水産業振興課】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
1	○				○	※水産業振興課 県内飲食店	食	あゆ提供飲食店の情報発信 ・あゆが食べられる飲食店等の情報収集・あゆ王国HPでの情報発信(通年)	HPアクセス数 26,258件 → 25,000件
2	○	○				※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	食	PRイベントの開催 ・第4回こうち天然あゆまつりの開催(7月) ・第27回清流めぐり利き鮎会での高知県産天然あゆのPR実施(9月)	PRイベントの実施 2回 → 2回
3	○					※水産業振興課 学校給食会 漁協	食	食育授業でのあゆの提供 ・食育授業の食材にあゆを活用し、県内小学校等の児童及び保護者に対して、関心喚起につながる学習と調理実習・試食を実施(時期未定)	食育授業でのあゆの活用 2回 → 1~2回
4	○	○				※水産業振興課 地産外商公社	食	「高知家の魚応援の店」への外商活動 ・全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施(通年)	あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 4回 → 4回
5	○				○	※水産業振興課 協議会(資源・環境保全部会)	釣り	高知県河川におけるアユイングの普及 ・アユイングに関する情報をHPやSNS等を活用し発信(通年)	アユイング情報発信数 0 → 1
6		○				※水産業振興課 地産地消・外商課 地産外商公社 協議会	加工・流通販売	集出荷事業者との連携による国内外への販売拡大 ・複数河川のおゆを集出荷できる県内事業者と連携し、国内外への展示会等への出展を通じて販売拡大に繋げる(通年)	商談会等への出展 2社 → 3社
7					○	※水産業振興課	情報発信	イベントでの「あゆ王国高知」ロゴマークを活用したPR ・各種イベントでロゴマークを用いたノベルティ配布やあゆ王国の動画上映によりあゆ王国高知振興ビジョン及び県産天然あゆのPRを実施(通年)	ロゴマークの活用回数 5回 → 6回
8					○	※水産業振興課 地産外商公社	情報発信	あゆのプロモーション ・地産外商公社と連携した情報発信(通年)	情報発信回数 0回 → 3回
9					○	※水産業振興課	情報発信	イベントでの「100年フード」ロゴマークを活用したPR ・R7年度に文化庁100年フードの認定を受けた「柚子酢締めのおゆ姿寿司」について、各種イベントで100年フードロゴマークを活用したPRを実施(通年)	PR活用回数 0回 → 1回
10					○	※水産業振興課 漁協 日本野鳥の会 水産研究・教育機構 高知県猟友会 国土交通省 市町村 河川課 中山間地域対策課 鳥獣対策室	資源回復・保全	高知県内におけるカワウ対策 ・適正なカワウ管理の推進に向けたカワウ対策検討会の開催(年2回程度) ・春季(繁殖期)と夏季(雛の巣立ち)でのカワウ生息状況調査の実施	-
11					○	※水産業振興課 土地改良区 漁協 市町村 水産業振興課 高知県内水面漁業協同組合連合会	資源回復・保全	高知県河川における魚道改修 ・R6年度に栃ノ木堰(安芸川)で改修工事を実施 ・R7年度に田野井堰(奈半利川)で改修工事を実施	-

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:地産地消・外商課】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
12		○				※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商公社	加工・流通販売	商談会への参加による販路開拓・販売拡大 ・高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商公社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる	商談会開催回数 4回 → 4回(見込み)

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:観光政策課】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
13	○				○	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	観光	観光客向けの情報発信 ・あゆ漁体験などを含む旅行商品や体験プログラムの情報を発信	四万十町 No.54と同様 体験メニューの商品化 1件 → 1件以上
14	○				○	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	観光	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR	44件 → 54件 ※令和4年度夏からの累計

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:自然共生課】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
15			○			※自然共生課 羽根小学校、香長小学校、舟入小学校、香北中学校、楠目小学校、長岡小学校、野市小学校、池川小学校、池川中学校、越知小学校、越知中学校、とさ自由学校、中村高校西土佐分校、衛生環境研究所、(公財)四万十川財団、流域団体等	体験・教育	環境学習会の実施 ・学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	実施校数 13校21回(実績) → 13校、21回以上(R8)

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:内水面漁業センター】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
16			○	○		※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課	体験・教育	資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 ・各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協等と情報共有を行う。 ・遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う。	毎年実施 → 毎年実施
17			○	○		※内水面漁業センター 漁協 水研機構 水産業振興課	資源回復・保全	カワウが本県の内水面水産資源に及ぼす被害の軽減に向けた取組 ・GPSロガーを用いて、カワウが利用している摂餌場所やねぐら・コロニー、河川・地域間の移動等を把握し、生活圏全体を明らかにする。 ・カワウの糞のDNAメタバーコーディング分析等により食性を明らかにする。	・GPSロガーの取付:3基→4基 ・糞のDNA解析:20検体→30検体

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：協議会(情報発信部会)】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
18	○					水産業振興課 ※協議会(情報発信部会)	釣り	ライトスタイルの提案及び広報 ・釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報	イベント等でのPR 1回 → 3回
19	○		○			水産業振興課 ※協議会(情報発信部会)	釣り	釣り道具の継承 ・釣り文化や釣り道具の継承に向けたPR	イベント等での釣り具のPR 1回 → 2回
20	○		○			水産業振興課 ※協議会(情報発信部会)	釣り	あゆ釣り全国大会の開催に向けた誘致活動 ・漁協、高知県友釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致	誘致に向けた取組 - → 1回

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：協議会(流通販売部会)】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
21		○				※協議会(流通販売部会) 県内事業者 水産業振興課	加工・流通販売	集出荷事業者の掘り起こし等による取扱量の増加 ・漁業等と連携して新たな集出荷事業者や持ち込み遊漁者の掘り起こしに取り組むことで、安定的な販売に繋げる	新たな集出荷体制の構築 1件 → 1件
22		○		○		※協議会(流通販売部会) 県内事業者 水産業振興課	加工・流通販売	先進地事例を参考にした高知県のあゆの鮮魚発送・冷凍方法の検討 ・漁協や冷凍関連事業者との連携により、本県に適した鮮魚の発送や冷凍方法を検討、情報発信する	情報発信数 1件 → 1件

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：協議会(資源・環境保全部会)】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
23				○	○	※協議会(資源・環境保全部会)	資源回復・保全	魚道改修やカワウ対策等の取組事例について情報発信 ・県内の魚道改修の成果やカワウ対策のモデル的な実施等をSNSや新聞で発信することで、県民や関係者の理解を醸成	情報発信回数 1回 → 1回以上
24	○			○	○	※協議会(資源・環境保全部会)	資源回復・保全	あゆの美味しさやアユイングについて情報発信 ・あゆの美味しさや旬、アユイングが楽しめる河川の情報など、高知のあゆについての多様な情報をSNS等で発信	情報発信回数 1回 → 1回以上

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：高知市】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
25	○		○	○	○	高知市	情報発信	関係人口の創出と情報発信 ・鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口等が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 20,862回 → 25,000回
26	○		○		○	高知市	情報発信	電子地域ポイントを活用した情報発信 ・鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 20,862回 → 25,000回
27			○			土佐山学舎	体験・教育	環境学習の実施 ・土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	環境学習の実施 4回 → 4回
28				○		鏡川環境保全の会	資源回復・保全	産卵場整備 ・環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	整備面積 面積想定不可 → 4,708㎡(R7実績)
29				○		高知市	資源回復・保全	あゆ資源回復に向けた検討 ・鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討する。	天然あゆ遡上数 23.5万尾 → 50万尾

## あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：四万十市】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
30	○					※四万十市 四万十市観光協会(遊覧船組合) 四万十川中央漁協	観光	火振り漁見学のメニュー化 ・体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	火振り漁見学のメニュー化 → メニュー化1件
31	○					※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	あゆ及び加工品の販売 ・道の駅で常時天然あゆの塩焼きを提供するとともに、バーベキューの食材として地域内のアクティビティ施設と連携してあゆ及び加工品を提供	新商品の開発件数 0件 → 1件
32	○	○				※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	日曜市でのあゆの販売 ・県内各河川が連携し、高知市の日曜市に出店することで、県民及び県外観光客にあゆを安定的に供給できる体制を整備	日曜市でのあゆの販売、日曜市に隣接した会場での販売体制整備 → 販売の実現
33	○	○				※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	利き鮎会(12月頃開催予定)及び食味会(開催日未定)の開催 ・四万十川の各地(本流、目黒川、黒尊川、藤ノ川川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う	利き鮎会及び食味会の開催 1回開催 → 令和8年度1回開催
34	○	○				※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売 ・県内外の各種イベントに出店しあゆの塩焼きを販売	イベントへの出店回数 7回 → 7回
35	○	○				※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	あゆフェスの開催(8月9日開催予定) ・西土佐地域に古くから伝わるあゆ料理や新しく考案されたあゆ料理を提供	あゆフェスの開催 第3回開催 → 第4回開催
36	○					※四万十市 四万十川中央漁協 給食センター	食	食育授業を通じたあゆの学習 ・市内小学校の児童が落ちあゆ漁の見学やあゆの産卵等について学習した後、保護者と一緒にあゆを活用した調理実習・試食を実施	食育授業でのあゆの活用 1回 → 2回
37	○	○				※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	食	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送	豊洲市場へのあゆ出荷 活あゆ等出荷量169.6kg → R5年度と同程度の量を出荷(307.7kg)
38	○					※四万十市 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会	食	子供が楽しめる体験メニューの提供 ・しゃくり漁、投網漁、つかみ取り等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	体験メニューの提供 5件 → 5件
39	○					※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	釣り	四万十一デカイ鮎釣った人が優勝！グランプリの開催(6月1日～10月15日開催) ・四万十川で釣った鮎の大きさを競う大会を開催	第4回開催 → 第5回開催
40	○			○		四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合 (※進捗管理所属：四万十町・四万十市)	釣り	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 ・流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信	報告会・ホームページ情報発信の実施 → 報告会・ホームページ情報発信の実施
41		○				※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	加工・流通販売	豊洲市場への活あゆ出荷 ・豊洲市場への活アユ等の出荷を継続	豊洲市場へのあゆ出荷 活あゆ等出荷量169.6kg → R5年度と同程度の量を出荷(307.7kg)

42	○				※四万十市 四万十川西部漁協	加工・流通販売	ふるさと納税でのあゆ加工品の出品 ・道の駅と連携してアユ加工新商品の開発を行うとともに、ふるさと納税返礼品としての出品を継続	新商品開発 1件 → 1件 ふるさと納税出品 4件 → 4件
43		○			※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協	体験・教育	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り体験等を実施	親子体験教室の開催 - → 1回以上開催
44			○		※四万十市 四万十川漁業振興協議会	資源回復・保全	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 ・四万十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	取り組みの方向性の検討 → 取り組みの決定・継続
45				○		情報発信	あゆに関する情報発信 ・ホームページやリーフレット等を作成し、県内外にあゆに関する情報発信を行う	ホームページ等を活用したPR活動 → ホームページ等を活用したPR活動
46		○	○		※四万十市 四万十川感謝祭実行委員会 四万十川財団 四万十川屋形船なっとく かわらっこ		あゆや四万十川全体の恵みを軸に食・体験・文化に触れることができるイベントを開催(9月末から10月開催予定) ・あゆのつかみ取り体験、塩焼きなどの販売を行う予定	第1回 開催 → 第1回 開催

## あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属：馬路村】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
47	○					※馬路村 (一社)馬路温泉運営協会	食	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ・馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューを開発し利用客に提供	・宿泊者向けあゆフルコースプラン 利用者数 192人 → 200人 (R7実績 6~10月) 192人
48		○				※馬路村	加工・流通販売	ふるさと納税でのあゆの提供 ・ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	ふるさと納税寄附件数・金額 16件・192,000円 → 18件・216,000円 (R7実績) 16件・192,000円
49		○			○	※馬路村	加工・流通販売	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 ・村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信する。	Instagramを活用したあゆに関する情報発信 2回 → 5回 (R7実績) 2回
50			○			※馬路村 村内保育所 安田川漁協	体験・教育	あゆ種苗放流体験の実施 ・あゆ種苗放流の一部を村内保育所の園児による放流体験とする。	体験回数 1回 → 1回 (R7実績 1回)
51				○		※馬路村	釣り	ふるさと納税での遊漁券の提供 ・安田川での遊漁券(年間・当日)を出品 ※R7.2月～ あゆ以外の魚も対象	- (参考) R7実績 (年間)5件・200,000円

## あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:仁淀川町】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
52		○				※仁淀川町	食	ふるさと納税でのあゆの提供 ・ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	ふるさと納税寄付件数 25件 → 50件
53			○			※仁淀川町 仁淀川の”緑と清流”を再生する会 仁淀川漁協 仁淀川アウトドアセンター	体験・教育	地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 ・あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習	58名参加 → 60名参加

## あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:四万十町】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
54	○					※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢、他町 内の管理者が常駐するキャンプ場	観光	キャンプ場でのあゆの提供 ・町内キャンプ場で予約制であゆの提供の実施(年中)	体験メニューの商品化 1件 → 1件以上
55	○					※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	観光	入川道の整備 ・魚道整備や草刈等の維持管理の管轄漁協への委託(上流淡水:13 東部:26)	入川道の維持管理 39カ所 → 39カ所
56	○	○				※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	食	漁協によるイベントへの出展 ・四万十川上流淡水漁協による町外へのイベント出店(土佐のおきやく、こうち天然あゆまつり、土佐の豊穰祭り、ふるさとまつり)	イベント開催回数 4回 → 4回
57	○					※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	食	学校給食へアユ提供 ・四万十町内の小中学校・高校の給食へのあゆの提供(通年)	実施校 10校 → 10校
58	○	○				※四万十町	食	県外での販売促進 ・町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進	商談会への参加 3回(予定) → 3回
59	○					※四万十町 アユまつり実行委員会	釣り	あゆのつかみ取りの実施 ・あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	つかみどり実施 1回 → 1回
60	○					※四万十町 四万十川財団	釣り	川漁体験の実施 ・四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	あゆに関する大人塾開催回数 6回 → 6回
61	○			○		四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合 (※進捗管理所属:四万十町・四万 十市)	釣り	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 ・流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信	報告会・ホームページ 情報発信の実施
62		○				※四万十町	加工・流通販売	ふるさと納税でのあゆの提供 ・ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	あゆ・あゆ加工品の返礼品件数 450件(予定) → 138件
63			○			※四万十町 四万十川財団 地域住民	体験・教育	地域学習への川漁や環境学習の導入 ・協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	環境学習の実施 4校 → 要望のある全ての学校で実施
64			○	○		※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	体験・教育	あゆオーナー制度の実施 ・四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施	オーナー制度参加者数 10人 → 20人

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:三原村】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
65			○			※三原村 三原村商工会 三原小学校	体験・教育	あゆ放流体験の実施 ・あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	体験回数 1回 → 1回

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:奈半利川淡水漁協】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
66	○					※奈半利川淡水漁協	観光	友釣り体験の実施 ・大人向け、子ども向けの友釣り体験に向けた調整・実施	体験イベントの実施 大人1名、子ども17名 → 大人3人、子ども35人
67	○					※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	食	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ・ホテル奈半利をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューの提供を開始	宿泊施設等へのあゆの提供尾数 515尾 → 800尾
68	○		○			※奈半利川淡水漁協	釣り	あゆのつかみ取りの実施 ・幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	参加児童数 3回141名 → 3回200名
69		○				※奈半利川淡水漁協	加工・流通販売	ふるさと納税でのあゆの提供 ・ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	ふるさと納税でのあゆの出荷尾数 215尾 → 100尾
70					○	※奈半利川淡水漁協	資源回復・保全	あゆ放流体験の実施 ・奈半利川流域の小学校で稚あゆの放流体験を実施	放流体験学校数 3校 → 3校を維持

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:嶺北漁協】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
71	○					※嶺北漁協	釣り	あゆ釣りダービー及び1日大会の開催 ・1ヶ月間で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催(9月)	大会の開催 1回 → ダービー1回
72					○	※嶺北漁協	資源回復・保全	あゆ放流体験の実施 ・地元の小学校で稚あゆの放流体験を実施	放流体験学校数 5校 → 2校以上

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:四万十川上流淡水漁業協同組合】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
73	○					※四万十川上流淡水漁業協同組合 四万十町	釣り	漁協による電子遊漁券の利用拡大 ・電子遊漁券の利用拡大(四万十川上流淡水漁協)	遊漁券の利用枚数 42枚(年券:6枚、日券:36枚) → 20枚

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:高知県友釣連盟】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
74	○					※高知県友釣連盟	釣り	友釣り体験会の開催 ・複数河川において、初心者を対象とした友釣り体験を開催(5/24)	来場者数 0回 → 1回以上
75		○			○	※高知県友釣連盟 水産業振興課	加工・流通販売	清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信 ・全国の河川のアユを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。 ・オープニングであゆ王国の取組をPRする(9月)	来場者数 280名 → 200名以上

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表

【進捗管理所属:能津集落活動センターミライエ】

番号	ビジョンの柱					実施主体 関係機関	主な取り組み 項目	取り組みの概要(R8計画)	現状値(R7) → 到達目標(R8)
	1	2	3	4	5				
76	○					※能津集落活動センターミライエ 屋形船仁淀川	食	能津地区来訪者への高知県産鮎料理の提供 ・能津集落活動センターミライエが屋形船仁淀川乗船者など能津地区を訪れた観光客へ高知県産鮎料理を提供する(通年) ・これまで開発した鮎料理の販売及びSNS等でのPR(通年)	鮎料理提供数 1,269食 → 1,500食

あゆを活用した観光や地域振興の取組を推進していくため、効果的な情報発信の方法等について検討

令和 7 年度取組

【第 1 回開催】 令和 7 年 11 月 6 日（木） 【開催内容】 実施した情報発信等について議論



観光客を対象としたPRイベント「こうち天然あゆまつり」の開催



仁淀川でのあゆ釣り全国大会  
決勝大会の誘致及び会場でのPR



第 64 回農林水産祭  
「実りのフェスティバル」でのPR



第26回清流めぐり利き鮎会でのPR

令和 8 年度取組



**拡** 第4回こうち天然あゆまつりの開催

【その他】 あゆ釣り全国大会の誘致に向けた準備活動 等



**拡** 利き鮎会等でのPR

【利き鮎会について】

- ・ 利き鮎会にかかる業務の民間企業への委託、参加料の見直しを実施⇒今年度の継続実施が決定
- ・ 県からもブース出展に伴うPR経費を支払う形で支援を実施
- ・ 引き続き、友釣連盟、委託事業者、県の三者で協議を行い、今年度の開催に向けて準備中

あゆを観光や地域振興に有効かつ持続的に活用していくためには、あゆ資源を活用と保全の両輪で取組を進めていくことが重要であるため、あゆの保全等について検討

## 令和7年度取組

### 【第1回開催】

令和7年10月24日（金）

### 【開催内容】

- ・これまでの取組について共有
- ・今後の方向性について議論

### ①魚道改修について

#### 【対応状況】

- ・河川環境整備事業（高知県漁業生産基盤維持向上事業費補助金）を整備し、魚道機能の向上が期待できる河川の堰で簡易的な魚道の改修を支援
- ・第3回こうち天然あゆまつりにおいて、魚道の紹介パネルを設置。県民の皆様へ情報発信

#### 【意見】

- ・良い魚道、悪い魚道それぞれの情報がほしい。
- ・視察ができれば一番よいと思う。

### ②カワウ対策について

#### 【対応状況】

- ・令和7年度に適正なカワウ管理の推進を目的としたカワウ対策検討会を立ち上げ、県下全域でのカワウ対策を実施。
- ・第3回こうち天然あゆまつりにおいて、カワウ対策に関する紹介パネルを設置。県民の皆様へ情報発信

#### 【意見】

- ・県全域の他、個々にエリアを分けて具体的な対策が提示されつつある。情報共有を密にしながら、県をあげて取り組むことが重要。

### ③アユイング振興について

#### 【対応状況】

- ・第3回こうち天然あゆまつりや県庁Xにおいて、アユイング振興に関する情報を発信
- ・アユイングが楽しめる河川の情報については、ダイワがホームページ上で公開している状況

#### 【意見】

- ・アユイングと友釣りの体験会を行いたい。体験しないと勧めることもできない。
- ・県内漁協へアユルアーを推奨するメリットを周知して欲しい。
- ・アユイングの普及状況等を共有してほしい。

## 令和8年度取組

### 魚道等の視察の実施



- ・県内魚道や内水面漁業センター等の視察の取組について調整
- ・関係者の理解を醸成し今後の取組につなげる

### アユイングに関する情報収集



図 アユイングの様子※画像提供：岡林釣具店

### アユイングの普及状況等について情報提供

### 【その他】

- ・アユイング及び友釣りの体験会について調整
- ・利き鮎会に入賞した鮎について情報収集等



県産天然あゆの消費拡大や付加価値の向上を図るため、安定的な販売と魅力的な商品づくりに重要となるあゆの集出荷や産地側の取組を検討

### 開催概要

- 開催日 ①令和8年5月19日(火) ○ 出席者 豊洲荷受け事業者2名、黒笹委員、西内委員、林委員、吉村委員  
(仁淀川漁協)、林田委員(奈半利川淡水漁協)、県(水産業振興課、地産地消・外商課)

### 協議事項

#### 1. 豊洲市場における天然あゆの取扱い状況について豊洲荷受け事業者との意見交換

【意見交換の内容】

- ・豊洲市場での取扱数量は減少傾向にあるものの、**単価上昇により取扱金額は高水準。**
- ・単価(養殖含)は21年度の1,367円/kgから**23年度には2,375円/kgまで上昇。**  
単価上昇の背景には、コロナ禍からの外食需要回復に加え、餌代・燃料費等のコスト上昇がある。
- ・豊洲市場におけるアユ取扱高のうち、**天然は全体の3%に留まる。**  
成魚の天然アユ取扱となると、**全体のわずか約1%となる。**
- ・近年は**天然志向や地域性を重視した需要が高まっており、天然アユに対する市場評価は高い。**
- ・**産地ごとのブランド化や高鮮度出荷を組み合わせることで、天然アユの販売拡大には十分なポテンシャルがある。**



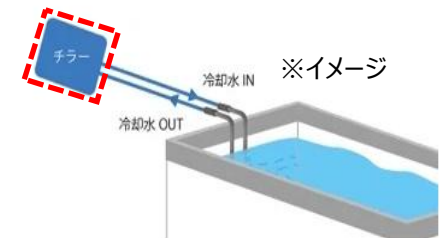
#### 2. 課題と今後の方針

河川名	課題	今後の方針
四万十川	豊洲へ <b>7月中旬ごろまで</b> 活アユを出荷中。 7月中旬以降になると夏場の高水温によって陸送中に死んでしまうため、出荷はストップする。	あゆ市場内の水槽にチラーを設置して、飼育水温を低温でキープし、 <b>出荷可能時期を長期化できるよう検討</b>
奈半利川	国内向けに冷凍アユを販売中。 豊洲ではチルドのアユの引き合いが強く、 <b>輸送に適した氷の確保が課題。</b>	高単価で取引される6月～7月限定で、かき氷器などで粉碎した氷を用いて、 <b>チルドのアユを航空便でトライアル出荷。</b>
安田川	アユの販売は行っていない。 出荷体制を構築するため、 <b>氷や梱包箱の確保をどうするか要検討。</b>	氷と梱包箱の確保に課題が残るが、 <b>販路開拓に向けて準備を進める。</b>

#### 3. その他

チラー・・・水を循環させて対象物を冷やす役割がある機器の総称。

冷やした冷却水を循環させることで機器や食品の冷却、水温の温度管理など、幅広い分野で活躍。



# 文化庁【100年フード】認定

令和8年2月27日付けで「柚子酢締めのおゆ姿寿司」が、文化庁の認定する「伝統の100年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～」に認定

## 【文化庁 認定 100年フード】

令和3年度より始まった認定制度で、現在300件を超えている

- ・ 伝統の100年フード部門
- ・ 近代の100年フード部門
- ・ 未来の100年フード部門 の3つの部門がある

## 【メリット】

- ・ 文化庁のHP「食文化あふれる国 日本」のページで紹介  
100年フードサミット、スタンプラリーなどが開催される。
- ・ 各種マスコミに取り上げられる。
- ・ 100年フードのロゴマークを使用できる。
- ・ 「認定証」を掲示しアピールできる。

## 「100年フード」

我が国には、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化があり、世代を超えて受け継がれ、その地域で長く愛されてきたものが多くあります。文化庁では、そのような食文化を「100年フード」と名付け、地方自治体、団体等とともに継承していく取組を実施しています。

これまでに300件の食文化が認定され、認定後は、各種メディアで認定団体の活動が数多く取り上げられたり、ロゴマーク入りの商品が販売されるなど、100年フードの取組は全国に広がりを見せています。

(参考) 文化庁HP



## 認定証

あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会様  
[1]伝統の100年フード部門 ～江戸時代から続く郷土の料理～  
柚子酢締めのおゆ姿寿司

令和7年度 100年フード認定



貴団体を上記のとおり認定します

令和8年2月27日

100年フード有識者委員会